

キャラクター名
イングヴァル

プレイヤー名

種族	シャドウ	種族特徴	暗視/月光の守り		
生まれ	拳闘士	性別	男	年齢	27
冒險者Lv	8	経歴	異種族の友人がいた		
経験点	220		身体のどこかに刺青がある 師と呼べる人がいる		

	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技 14	器用度	6	2		22	3
	敏捷度	5			19	3
体 8	筋力	9	4		21	3
	生命力	11	1		20	3
心 5	知力	10	4		19	3
	精神力	2	2		9	1

技能	Lv.	技能	Lv.
グラップラー	8		
スカウト	4		
レンジャー	1		
セージ	4		
エンハンサー	2		
ライダー	4		

戦闘特技

追加攻撃	220 p			p
投げ攻撃	225 p			p
カウンター	2120 p			p
鎧貫き	IB39 p			p
両手利き	223 p			p
必殺攻撃	IB38 p			p
踏みつけ	IB31 p			p
武器習熟A/格闘	IB31 p			p
	p			p
	p			p
	p			p

言語	会話	読文
巨人語	○	
交易共通語	○	○
ドラゴン語	○	
汎用蛮族語	○	
妖精語	○	
シャドウ語	○	○

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ	鎧と盾	必要ランク	筋力	回避力	防護点
ファイター	0				鎧	クロースアーマー		1	2
グラップラー	8	11	11	11	盾				
フェンサー	0				その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
シューター	0				回避技能	グラップラー	合計値	11	2

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
パワーリスト グラップラー専用、パンチ強化	1H	5		2d+ 11	9	12	10										
パワーアンクル	1H#	10	-1	2d+ 10	9	12	15										
スパイクブーツ グラップラー専用、キック強化	1H#	1	-1	2d+ 10	10	12	11										
セスタンス グラップラー専用、パンチ強化	1H	1	1	2d+ 12	10	12	1										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	24 m	72 m	2d+ 11	2	44						
2d+	7	2d+ 7	2d+ 11	2d+ 13	9						

装備品		説明
頭	リングピアス(金属)	
耳	リングピアス(金属)	
顔		
首		
背中	ハーフマント(フード付き)	
右手		
腰		
足	韋駄天ブーツ	移動力+5
その他		
装備品	説明	
リングピアス(金属)		

その他メモ	自動失敗 チェック □□□□⑤ □□□□⑩ □□□□⑯ □□□□⑯ □□□□⑯ □□□□⑯ □□□□⑯ □□□□⑯ □□□□⑯ □□□□⑯
シャドウとして、ごく普通の家庭に生まれたイングヴァルは、幼少期に他の子と比べると明らかに握力が高いのだ。 子供であるイングヴァルには手加減というものが難しく、しかし両親にも耐えがたい程の力で掴んだり触れたりする為、両親はほどほど困り果てていた。 1歳ぐらいから判明した握力の強さは原因がわからず、5歳になる頃まで極力人には触れないように育てられた。 そんなイングヴァルは村からとても距離を置かれ、村の親たちは自分の子がけがをしないよう、イングヴァルと距離を置くよう子に命じた。 イングヴァルは村で友達も出来ず、両親にも触れられず育っていった。 そんなイングヴァルに友達というものを教えてくれたのは、異種族の女の子だった。 村外れの森の中で偶然出会ったその女の子に、イングヴァルは恋もした。 小さい頃の思い出なので、イングヴァルはこの子についての容姿は全く覚えていない。	

キャラクター名
イングヴァル

— プレイヤー名 —————